

2022年度(令和4年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	45.45	31.82	13.64	9.09
女子	55.56	33.33	0.00	11.11

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	68.18	22.73	4.55	4.55
女子	55.56	38.89	0.00	5.56

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	50.00	27.27	13.64	9.09
女子	33.33	44.44	16.67	5.56

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	13.71	20.95	36.50	43.23	42.43	9.96	149.18	21.00	52.76
女子	14.47	18.95	39.47	37.26	41.00	10.34	126.79	13.84	52.39

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未滿

重点課題および要因

情意面

- ・休憩中の外遊びをする児童が減ってきている。コロナウイルス感染対策のために外遊びができなかったことに加え、寒さが厳しくなり、外遊びを敬遠する傾向が強くなったと考えられる。
- ・授業や家庭学習の体力づくりなどを通して、運動することの楽しさを十分味わっていない。

体力面

- ・全国平均や県平均と比べて、握力が男女共に-3ポイント程離れている。また全国平均と比べると男子は、20mシャトルランが-10ポイント、女子は立ち幅跳びが-20ポイント程度離れている。筋力と持久力の課題が大きい。
- ・学校内、公園に遊具が少なく、多様な動きを必要とする運動をする機会が減ってきている。また、遊びの種類が限定されている。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・準備運動やサーキット運動などで多様な動きを必要とする運動を行い、体力向上につなげる。
- ・授業で安全の確保を行った上で、場の設定を工夫して、45分間でより多くの運動に触れられるようにする。
- ・情報端末を用いて自分の動きをふりかえったり、友達と話し合ったりする場を設定し、自分の動きの変化や、友達の動きの良さを見つけることを通して、児童が個別に取り組む目標や方法を決め、授業をより「楽しい」「やってみよう」と思えるようにする。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会活動や児童会活動など児童主体の外遊び活動を促す。
- ・3学期の持久走や縄跳びなどの体づくり運動では、目標を決めて、それに向かって授業や休憩中、帰宅後に取り組めるように情報端末を使ったふりかえりやデータ整理を行う。
- ・運動をすることの良さを子どもたちと考え、自発的に運動できるようにしていく。

2023年度(R5年度)の重点目標値

- ・県平均以上の項目数を50%以上にする。